

■日 時 令和8年7月23日（木）午後3時00分～午後4時40分

■場 所 上山市役所 大会議室

■出席委員（16名）

西田 浩 委員 小笠原玲哉 委員 金子啓助 委員 木村容子 委員
本島優子 委員 五十嵐歩 委員（代理 阿部桃佳 委員） 石山朋憲 委員
山川和寿 委員 関根慎也 委員 木村英一 委員 齊藤 勝 委員
小山田容子 委員 齊藤直子 委員 槇亜都子 委員 牧 純一 委員
萩生田充知子 委員

■欠席者（3名）

安藤常浩 委員 加藤友里 委員 亀井育代 委員

■事務局（子ども子育て課）

木村子ども子育て課長、渡邊副主幹兼子ども福祉係長、鈴木主査

■会 議

- 1 開 会
- 2 新任委員の紹介
- 3 会 長 挨 拶
- 4 議 事

（1）令和7年度こどもの生活に関するアンケート結果 資料1

資料に基づき事務局より説明。

【主な質疑等】

（齊藤勝委員）

令和4～7年にかけて、国民の給与全体も2割ほど上がっている。前回調査から約2割上がった部分を補正する必要はないか。本当に子どもの貧困率が下がっていると受け止められないと思うがいかがか。

（子ども子育て課）

最低賃金は近年上昇傾向にあるが、近年の物価上昇等を考えると、素直に困窮状態から改善しているとは言い切れない状態だと思う。

（齊藤勝委員）

相対的に社会の収入が上がっていて、かえって困窮状態から抜け出せない世帯がもしかしたら比率的に増えているのではないかと考えている。

（関根慎也委員）

上山市の貧困の状況における特徴は何か。また、本市ではどのようにこどもの貧困施策を進める予定なのか。

(子ども子育て課)

本市の貧困状況の特徴を示すことは難しいと考えている。また、貧困施策の進め方については、こども家庭庁でも示しているが、こどもに関する部署だけでなく、福祉、教育など様々な機関が連携して取り組む必要がある。今回の中間評価に合わせ、関係課にも取組の追加や修正等がないか確認したところだが、今後も貧困計画を進める中で、こどもの貧困問題を切り口として関係各所に働きかけてまいりたい。

(2) 計画の数値目標における達成状況

資料2

【主な質疑等】

なし。

(3) 各事業の進捗状況

資料3

ア 支援体制と広報周知の強化

【主な質疑等】

(齊藤勝委員)

説明を聞いて、概ね計画通りに実施されているということがわかったが、この分野において市が考える課題は。

(子ども子育て課)

相談窓口があるとは知らなかった等、今回のアンケート結果でも表れているが各種相談窓口の認知度が低いことである。各相談窓口の周知の強化が必要であると考えている。

(小山田容子委員)

妊娠、出産から子育て期に係る相談とは、どのような相談がきているのか。

(子ども子育て課)

こどもがなかなか泣き止まない、動画ばかり見て夜遅くまで起きている等、多岐に渡る様々な相談がきている。

(小山田容子委員)

そのような相談にどう対応しているのか。

(子ども子育て課)

母子保健コーディネーターや保健師等が話を聞くほか、心理士の資格を持った方に相談できる場につなぐなどして対応している。

イ 教育・保育の支援

【主な質疑等】

(小山田容子委員)

乳幼児期から小学校１年生まで切れ目のない支援が大切だと言われているが、その取組はどれにあたるのか。

(子ども子育て課)

収入が少ない状態であっても、一定の支援を受けることができることのできる取組と言うことで、①幼児教育・保育の全額公費負担の推進及び質の向上が該当するのではないかと考えている。

(小山田容子委員)

これは意見であるが、地域と学校が連携して運営する学校運営協議会のように、幼保小連携を強化すべきだと考えている。

(子ども子育て課)

貴重なご意見として承る。

(西田浩委員)

幼保小の連携については本市の課題と捉えている。小中学校サイドとしても重要であると捉えており、ぜひ子ども子育て課と学校教育課とで連携し、行政として音頭をとって進めてほしい。また、資料３のＰ１２に記載されている学校運営協議会について、西郷小中学校は学区が市全域となるため時間がかかっているが、コミュニティ・スクール設置に向けて準備を進めているところである。

(齊藤勝委員)

保育園における給食について、保育料が無償になったとしても、主食費は対象外である。今後、主食費も含めて検討してほしい。

(子ども子育て課)

現在、公立園での、主食（ご飯）については各家庭から持参していただいております、民間立園とは異なる環境にある。ご承知の通り、今年度、みなみ保育園が閉園となる予定で来年度はしらさぎ保育園１園となることから、主食（ご飯）の提供についても保護者アンケート調査などを実施して検討したいと考えており、その結果、公立園でも主食（ご飯）を提供することとなって公立園、民間立園が同じ環境になってからの検討になると考えている。

ウ 生活の安定に向けた支援

【主な質疑等】

(萩生田充知子委員)

計画にこども食堂の記載があるが、市から何の補助も出ていない中での取組である。事前にこのように計画に記載してよいかと打診を受け了承はしたが、担当課・団体等として記載されると、市の取組のように見え不愉快である。書くのなら、このように活動している団体があるので、市としてはこのような支援をしていきますというような記載をすべきではないか。

(子ども子育て課)

市の取組だけでなく、市内で行われている民間の取組や県等の取組も計画で紹介させていただいているところである。こども食堂が市の補助等もない中で取り組まれていることは承知しており、今後、誤解の与えない記載表現等について検討していきたい。

エ 就労の支援

【主な質疑等】

(関根慎也委員)

計画に記載されている事業は今後も継続して取り組むのか。また、教員等に対する支援などはあるのか。

(子ども子育て課)

計画に記載している事業で私立高等学校への就学奨励制度については廃止されているため、削除する考えであるが、その他の事業については継続して取り組む考えである。また、教員等への支援については、教育委員会にて働き方改革等進められているものと認識しているが、具体的には把握していない。

オ 経済的支援等

【主な質疑等】

(齊藤勝委員)

該当者がいない、利用者がいないと記載されている取組については、申し込んだが支給条件を満たしていないことによる利用件数が0なのか、そもそも申込がなかったのか。

(子ども子育て課)

申込がないことによるものである。セーフティネットとしてさらに周知を図る必要があると考えている。

(萩生田充知子委員)

「フードバンクかみのやま」のところに「かえる家」と入れてほしい。生活用品の無償配布はこども食堂としてはやっていない。「フードバンクかみのやま」なので修正してほしい。

(子ども子育て課)

修正します。

カ その他

(西田浩委員)

会議の進め方について、事前に資料配付しているのであれば、事前に目を通して会議に臨んでいることと思うので説明時間は短くて良い。様々な団体から出席いただいているので、様々な視点からの考えや意見を知りたいと考えている。このような視点から意見を出してほしいと事務局から事前に参加者に伝えた上で、意見交換に時間を割いた方がより実りのある会議になるのではないか。

(子ども子育て課)

今後も子ども子育て会議を開催する予定であり、令和9年度は母子保健計画や第3期子ども・子育て支援事業計画などの中間評価も行っていく予定である。今後の会議の持ち方について工夫させていただきたい。

5 その他

本日いただいた意見に係る対応については、子ども子育て会議にて再度お諮りする予定であるが、書面開催の場合もあるのでご了承願いたい旨事務局より説明。

6 閉 会

以上